

第3期中期目標期間の基本的な目標

「21世紀を生き抜くための能力+α」を備えた教員の養成するための教育課程の開発・導入を推進する。

更に発展

第4期中期目標期間の基本的な目標

地域における教員養成の在り方を研究し、その総体としての質的改善に資することを目的とした『教員養成学』の理念、内容、方法等の体系化を目指して組織的研究に取り組む。

第4期中期目標期間の構想概要

1. 教員養成・研修機能の高度化に向けた取組

(1) 教員養成機能の高度化に向けた取組

- 現代的教育課題に即した教育を担う教員を養成するため、**教育研究組織の改編・整備**を行います。(121)
- **大学間連携協定を締結する大学からの学生受入**を行い、多様な専門性を持った教員を養成します。(122,123)
- 高校生を対象とした「**次世代教員養成プログラム(仮称)**」の開設・実施及びプログラム受講者を対象とした**入学者選抜方法の導入・実施**を通じて、高大接続を図るとともに、教育の更なる充実・発展と人材育成に貢献します。(132)
- **現代的教育課題に対応した教育課程の更なる整備・充実**を図ります。(142,143,144)
- 学校実習の実施にあたり、「**学校実習コンソーシアム上越**」を通して、**学校実習に係る実施体制の連携を強化**します。(145)

(2) 教員研修機能の高度化に向けた取組

- 教育課題に対応した**キャリアアップ講習等を実施**し、地域の現職教員の資質能力の向上に貢献します。(111,113)
- **いじめの問題に取り組む**大学・教育委員会等の関係機関と連携を図りながら、**生徒指導上の諸問題に関する調査・研究及び情報提供**を行います。(112)

2. 学生支援に関する取組

- 学生に対するきめ細やかな就職指導等を実施し、全国的にも**高い教員就職率の維持**に取り組みます。(141)
- 【教員・保育士就職率の目標】
 - 学部 : **80%**
(卒業生から進学者を除く)
 - 教職大学院 : **90%**
(修了生から現職教員、進学者及び外国人留学生を除く)
- 学生の多様性も踏まえた合理的配慮を全学的な支援体制により実施します。(151,152)

3. 大学教員の実践力の向上に関する取組

- 学校現場での指導経験を持たない**大学教員の採用者に学校現場研修を実施**し、学校現場に密接に関連した実践的な教育を推進します。(146,147)
- **現代的教育課題に係る実践的な研究を推進**します。(161)

4. 附属学校における取組

- **先進的なICT教育や今日的な教育課題に対応した教育研究の推進と成果の発信**を行います。(171)
- **附属学校の運営に係る機能を強化**し、大学と附属学校及び附属学校相互の連携をより強化します。(213)

5. 安定的な財務基盤の確立に向けた取組

- 寄附金等に関する業務を一元的に取り組む**基金室(仮称)**を設置し、**安定的な財源確保**に取り組みます。(231)
- 学内の**資源配分の更なる最適化**及び受託事業や寄附金等の**外部資金の受入に係る取組**を推進します。(232,233)

6. その他の取組

- 学長のリーダーシップのもとで、**ガバナンス体制の更なる強化**を図ります。(211,212)
- **施設・設備の戦略的な整備及び共同利用の推進**を通じて、教育研究活動に対応した教育研究環境の基盤を確保します。(221,222)
- 各種評価に係る質向上と評価方法の改善により、PDCAサイクルの機能向上を図ります。(241)
- 教育研究活動の状況や研究成果に関する**積極的な情報発信**を行います。(242)
- デジタル技術の活用に伴い、**情報セキュリティ対策に係る取組を強化**します。(251,252)

社会との共創

大学が地域創生の一翼を担う。

- 新潟県・上越地域との連携
- 新潟県・市の教育委員会との連携
- 地域の幼稚園、小・中学校、高校との連携
- 「学校実習コンソーシアム上越」(本学、近隣4市の教育委員会・校長会による組織)の継続
- 民間企業との連携

育成すべき人材像

- 「人間力」「知的能力的要素」「社会・対人関係力的要素」「自己制御的要素」からなる有する教育人材の養成
- 学校現場における諸課題に関連して、高度な専門的知識を備え、チーム学校の一員として課題の解決に貢献できる人材の養成

